

輝くシルバー いなべ

平成30年7月

28号

地域社会に輝くシルバーパワー



シルバーパワーで
ナイスショット!

6月2日互助会のパークゴルフ同好会の一コマ
(藤原パークゴルフ場)



公益社団法人 **いなべ市シルバー人材センター**

本部 〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜 2624-2
TEL (0594) 82-1800 FAX (0594) 72-7741
E-mail inabe-sj@m3.cty-net.ne.jp
ホームページ <http://www3.cty-net.ne.jp/~inabe-sj/>



QRコード (携帯電話で見られます) ▶

ご挨拶

公益社団法人 いなべ市シルバー人材センター

理事長 渡辺 勇



この度、5月30日に開催されました定時総会におきまして役員改選がおこなわれ、理事長の大役を仰せつかりました渡辺勇です。どうぞよろしくお願いいたします。

平素は会員の皆様をはじめ関係機関には事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

平成29年度は地域やお客様に満足いただける就業を目指して運営してきました結果、請負就業と派遣就業を合わせた契約額は、前年度を大きく上回り過去最高となりました。

これは、会員の皆様の努力の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

さて、近年急速な少子高齢化が進む中、高齢者の皆さんが働くことを通して、生きがいを得るとともに、地域社会の活性化にも貢献することが強く求められるようになってまいりました。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと高齢者の方が、今まで培われた技術、知識、経験を土台として、生涯現役で社会参加をしていただけるよう、皆様の出番づくりに少しでもお役に立てるよう日々努力をしております。

皆様には地域社会の一翼を担っているという自負心と健康で働くことのできる喜び、そして働く仲間の皆さんと情報を共有できる楽しみを味わってほしいと思います。

当センターは公益社団法人として地域に愛され信頼される魅力あるシルバー人材センターを目指し役員一丸となって更なる発展をしております。

最後になりましたが会員の皆様には「安全就業・健康管理」に充分ご留意いただき、暖かいご支援を賜りますようお願いいたしまして就任の挨拶とさせていただきます。

よろしく願い申し上げます

役員

理事長	渡辺 勇	理事	日沖 實雄
副理事長	近藤 雅孝	理事	渡邊 良造
常務理事	渡部 武	理事	寺村 昇幸
理事	伊藤 庄平	理事	三好 成之
理事	藤田 文義	理事	児玉 達雄
理事	二井 正	監事	川瀬 孝男
理事	小林 源一	監事	小林 悟

職員

事務局長	渡部 武	員弁業務担当	渡邊 清嗣
総務・経理担当	多湖 公	大安業務担当	梅山 時男
会計庶務	是澤 由美	事務	梅山 真由美
事務	川瀬 奈津美	合同担当	二之夕 秀明
北勢業務担当	佐藤 泰博	バス事業担当	藤野 清
藤原業務担当	羽場 敏夫		
事務	岡本 なおみ		

平成30年度 事業計画

少子高齢化が進展し労働力人口が減少している中、シルバー人材センターは働く意欲のある高齢者の受け皿として今後も社会に貢献し地域に根ざした活動することが求められています。

一方、社会保障費等の増加により、年金支給開始年齢が段階的に引き上げとなり、各事業所が65歳までの継続雇用を実施したことから、60歳前半のシルバーへの新規入会者が減少し、在籍会員の高齢化が進み、求人要求にも満足に答えられていないという課題もあります。

今後、高齢者は多様な働き方、社会参加の方法を自ら見つけ出してこの超高齢化社会を生きていかなければなりません。

当センターは働く意欲のある高齢者の「居場所」と「出番」を見つけ、就業先とマッチングできるよう努力してまいります。

平成30年度は第3次中期事業計画の最終年度となります。「希望と魅力あるシルバー人材センターを目指して」を目標に役職員一同取り組んでまいります。

「基本方針（平成26年度～平成30年度 第3次中期事業計画）」

基本方針	30年度実施項目
<p>固める</p> <ul style="list-style-type: none"> ●時代の要請に即応できる体制を固める ●収支・財務のシステムを固める ●就業体制の仕組みを固める 	<ol style="list-style-type: none"> ① 組織運営体制の確立 ② 活動拠点としての活用の検討 ③ 第4次中期事業計画の策定 ④ 職群班の活性化 ⑤ 財政基盤の強化 ⑥ 適正就業の推進
<p>広げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな就業領域を広げる ●新入会員の積極的募集により人材を広げる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 受注の拡大 ② 会員の確保 ③ 会員の満足度の向上
<p>高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会員・役職員の質を高める ●情報の質を高める 	<ol style="list-style-type: none"> ① シルバー理念の徹底 ② 研修・講習の実施 ③ 職員研修 ④ 普及啓発の推進 ⑤ イベント参加
<p>繋げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●会員を繋げる ●地域社会へ繋げる ●顧客へ繋げる 	<ol style="list-style-type: none"> ① 高齢会員の生きがいづくり ② 顧客満足度向上 ③ いなべ総合病院草取りボランティア ④ 会員互助会との連携

<p>30年度安全適正就業の徹底</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 安全就業の取り組み ② 適正就業の取り組み ③ 委員会等の開催 ④ 安全就業推進大会 ⑤ 交通安全マナー研修 ⑥ 安全パトロール ⑦ 安全適正就業研修会 ⑧ 交通事故防止 	<p>30年度事業目標</p> <p>会員数 780名</p> <p>契約額 4億5,600万円 (派遣事業を含む)</p> <p>就業率 90%</p>
--	--

平成30年度定時総会の報告

いなべ市シルバー人材センター定時総会が開催されました
平成30年5月30日 午後1時より 北勢市民会館（さくらホール）

総会は日沖市長、清水市議会副議長、日沖県議会議員、内田三重県シルバー連合会事務局長他、来賓多数のご列席を頂き、会員251名出席のもと無事盛会裏に開催されました。

来賓の方々から祝辞をいただいた後、満80歳の会員表彰が行われ、次第に基づいて議案審議に入りました。議長は員弁地区の多湖信隆会員にお願いし、下記の議案が承認されました。

【議 事】

- 第1号議案 …………… 平成29年度事業報告について
- 第2号議案 …………… 平成29年度収支決算について
- 第3号議案～第16号議案 … 役員（理事・監事）の選任について

総会の写真



定時総会風景



西野理事長挨拶



日沖市長祝辞



清水市議会副議長祝辞



日冲県議会議員祝辞



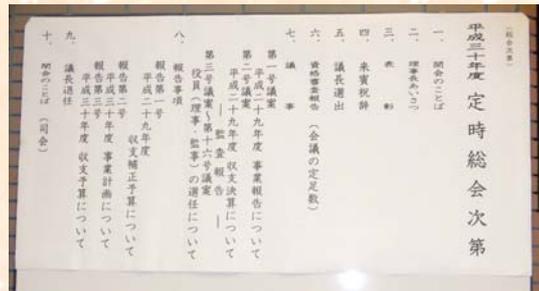
内田県シ連事務局長祝辞



多湖総会議長



総会風景 (挙手多数で議案成立)



式次第

平成30年度定時総会 受賞者のご芳名 (80歳表彰)

北勢地区	井上 久幸	大安地区	遠藤 末男	大安地区	清水 甚代
//	近藤ヨシ子	//	大橋 力雄	//	萩原 和雄
//	清水 秀夫	//	岡 昭十三	//	日冲 国夫
//	高沢 博	//	岡 清茂	//	水谷 素子
//	服部 稔三	//	岡 正司	藤原地区	岡 勝行
員弁地区	太田 勝	//	岡本 いね	//	児玉 京一
//	蛭 薙 善實	//	小林 司	//	豊田 幸雄

(敬称略)



会員表彰 (80歳表彰)

安全適正委員会だより

“危険予知で事故の無い就業を”

安全適正委員長 近藤 雅孝



この度の役員改選で安全適正委員長を拝命いたしました近藤雅孝です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度も安全適正委員会で傷害事故、賠償事故「ゼロ」を目標に取り組んでまいりましたが、残念ながら少し気をつければ防げた事故等が多く発生しました。

要因については、加齢による認知力や判断力の低下、急な状況変化への対応力の低下などが考えられます。

「まだまだ若いのでこれくらいのことはできる」「年寄扱いしてもらっては困る」など気持ちだけではいつまでも若い時の事を記憶しており、体がついていかないというのが現状だと思います。

事故を防ぐために、仕事に取り掛かる前には体を十分にほぐし、これで大丈夫かと危険予知をして、「自分の体は自分で守る」という意識を持ちましょう。

そのためには規則正しい生活を送り、十分な睡眠をとり健康を第一として安全に就業していただきたいと思います。

当シルバーでも、安全標語「守る事しっかり守って怪我は無し」「慣れた手も弛んだ気持ちで事故招く」の合言葉をもとに危険な要因の洗い出しに努め安全な就業環境を目指していきたいと考えます。

最後になりましたが会員皆様の安全就業を願い就任のあいつとさせていただきます。

「会員の安全心得10ヶ条」

- 1、作業は安全第一を心掛け、急いだり慌てたりしないこと。
- 2、器具類は使用する前に必ず確認すること。
- 3、服装、履物は作業にあった動きやすいものとする。
- 4、作業前に軽い体操をして身体をほぐすこと。
- 5、加齢による諸機能の低下を十分に意識して無理をしないこと。
- 6、作業現場は常に整理整頓を行うこと。
- 7、共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
- 8、帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- 9、健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 10、仕事の前日には十分睡眠をとること。

安全適正委員会▶



◀除草班畦草刈朝礼風景

員弁町笠田大溜▶
除草作業



どうしたら防げるの高齢者の交通事故

交通事故死者数は年々減少する傾向にありますが65歳以上の高齢者が占める割合は高くなっています。さらに近年では事故の被害者だけでなく加害者になるケースも増えています。

高齢者の交通事故死者数の内訳をみると最も多いのが歩行中の事故死で約半数。次いで自動車乗車中、自転車乗用中となっています。また、発生した時間帯を見ると夜間の歩行中に交通事故で亡くなった高齢者は昼間の約2倍となっています。

高齢者が遭いやすい交通事故には下記のようないくつかの特徴があります

歩行中の事故では!

1. 横断歩道以外の場所の横断や走っている車の直前・直後の横断。
2. 横断歩道での信号無視など高齢者自身による交通ルールの違反。
3. 横断歩道を横断中に信号が赤に変わってしまい事故に遭うケース。
4. 道路を横断するとき一方方向の車線だけ確認し、反対車線の車に気づかないで事故に遭うケース。

運転中での事故では!

1. アクセルとブレーキの踏み違い。
2. 安全確認不足。
3. 一つの事に気を取られ他の情報を見逃す。
4. 止まれると思ったポイントで止まれないなど「意識と行動のミスマッチ」。

高齢者の皆さんへ

いつも通っている道でも次の事に気をつけてください。

1. 交通ルールを守りましょう。
2. 信号無視はしない。横断禁止の場所では道路を横断しない。
3. 自分の運動能力や身体機能の変化を認識し、ゆとりをもって行動する。

年を取るにつれて若いころと比べると運動能力、判断能力や身体機能が低下します。ハンドル操作やブレーキ操作が遅れて事故を起こすこともあり得ることを認識したうえで、安全な速度での運転と早目のライトの点灯を心がけましょう。

会 員 募 集 中

市内にお住いの健康で働く意欲のある会員を募集しています。お友達の紹介をお願いします。

入会説明会

- ★日時 7月17日(火)
8月20日(月)) 午後1時30分～
9月18日(火)
- ★場所 北勢福祉センター 2階 中会議室

新規会員拡大キャンペーン実施中

- ★新規入会者を紹介していただいた会員さんには粗品(商品券)を進呈します。
- ★入会説明会への参加を希望される方は、事務局(電話82-1800)まで連絡をください。

互助会だより

お知らせ!

日帰り親睦バス旅行

- ★日時 10月17日(水) 大安・員弁
10月18日(木) 北勢・藤原
10月21日(日) 4地区合同

- ★費用 参加費4,000円
(申込時1,000円+乗車時3,000円)

※行き先、参加募集など詳細は8月の事務局だよりにて同封の予定です



同好会活動紹介

歩こう同好会

- 8月中旬予定 (6km・約4時間)
大井田地区～梅戸地区周辺
- 10月中旬予定 (5km・約4時間)
東海自然歩道川原峠～東光寺

パソコン教室

- 毎週水曜日 13:30～15:30
北勢福祉センター 2階にて開催

パークゴルフ同好会

- 6月2日(土) 第1回大会
(※実施済み)
- 12月上旬予定 第2回大会
いずれも藤原パークゴルフ場にて開催(農業公園)

今年の活動計画

交通安全街頭指導(年4回)

4月10日(火)、7月12日(木)、
9月25日(火)、12月4日(火)

シルバーの日奉仕活動

奉仕活動日時：10月13日(土) 2時間程度
(地域により繰り上げ実施あり)
※活動内容：小学校、保育園など地域で決めた
場所での清掃、草取り、草刈り、剪定作業

今年度の互助会役員・班長

役員

会長・後藤 廣美	北勢幹事・水本 一見
副会長・日美 善之	員弁幹事・辻 正三
会計・藤井 樹巳	大安幹事・葛巻 美一
書記・岡田 春雄	藤原幹事・木村 良紀
監事・高木 清光	
監事・小倉 敏男	

班長

北勢 阿下喜・三浦 精悟	員弁 員弁西・渡部 正
十社 林 保男	員弁東・多湖 正克
治田 水谷 逸雄	藤原 立田・加藤 秀仁
山郷 三好 勇一	中里 森 日出男
大安 笠間 野口 弘己	白瀬 羽場 正信
三里 有賀 登美男	西藤原 近藤 三郎
丹生川 梅山 利光	東藤原 木村 信之
石樽 嶋田 勇	

編集後記

会報28号発刊にご協力頂きありがとうございました。

最近、高齢化と健康寿命ということばをよく耳にします。高齢化は誰も避けることはできませんが、健康寿命は自分の気持ち次第で長く伸ばせるのではないかと思います。

そのためには自分から進んで、各種の教室、同好会、サークル活動等に積極的に参加し地域社会と触れ合う機会を持つことが大事だと思います。

今後とも、健康管理に気を付けて、安全第一で長く活躍されることを願っています。

(多湖 公)